

# 土地改良事業計画概要書

## 県営久之木地区

区画整理（経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」）事業

# 目 次

第1章 目 的	-----	1
第2章 地域の所在及び現況	-----	2
第1節 地 域	-----	2
第2節 地 積	-----	2
第3節 現 況	-----	3
第4節 地域環境の概況	-----	11
第3章 基本計画	-----	12
第1節 事業計画の要旨	-----	12
第2節 営農計画及び土地利用計画	-----	13
第3節 用水計画	-----	14
第4節 排水計画	-----	17
第5節 道路計画	-----	20
第6節 農用地造成計画	-----	20
第7節 農用地整備計画	-----	20
第4章 工事又は管理の要領	-----	23
第1節 工事の内容	-----	23
第2節 管理の要領	-----	23
第5章 換地計画の要領	-----	24
第6章 費用の概算	-----	26
第7章 効 用	-----	27
第8章 他の事業との関係	-----	28
第9章 計画概要図	-----	29

## 第1章 目的

本地区は、柏崎市の中央部付近に位置し、八石山及び二級河川鯖石川、二級河川久之木川に囲まれた農地を受益区域とする水田地帯である。

本地区のほ場は昭和30年頃に団体営事業で10a区画に整備されたままの耕地であり、農道は2.5m以下の幅員であるため、大型機械での作業に支障をきたしており、担い手への農地集積が進まない状況である。また、地区内の用排水路はほとんどが二次製品水路であるものの、用排未分離の路線が大半を占め、経年劣化が進む中で、水管理や維持管理に大変苦慮している。さらに、土質は重粘質土壌で排水性が悪い上、約50年前に整備された暗渠排水は経年劣化により、多くの箇所排水不良が起きている。このため、園芸作物の導入は進まず、水稻栽培にも支障をきたしている。

上記問題を解消するべく、農地中間管理機構との連携による担い手への農地の集積・集約化や、生産コストの削減を図るための農地の大区画化に加え、高収益作物の導入・拡大を通じた収益力の強化を図るため基盤整備が必要である。

## 第2章 地域の所在及び現況

### 第1節 地域

事業名	地域
区画整理	新潟県柏崎市善根

### 第2節 地積

(R7年8月現在)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	区画整理	柏崎市	23.0	0.3	—	—	4.5	27.8
合計		23.0	0.3	—	—	4.5	27.8	

### 第3節 現 況

#### 1. 気象及び海象

##### (1) 一般気象

観測所名	柏崎観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	備考欄参照	5月～8月	9月～4月		
平均気温 (°C)		21.6	9.4	13.5	気象庁HP 1991年～2020年
降水量	平均 (mm)	639.4	1,771.8	2,411.2	〃
	基準年 (mm)	470.0	1,609.0	2,079.0	1974年 水文統計資料〔第14版〕
降水日数	平均 (日)	47	151	198	気象庁HP 1991年～2020年
	基準年(日)	—	—	180	1974年 水文統計資料〔第14版〕
根雪期間		1月10日～2月19日		41日間	出典：新潟地方気象台 1991年～2020年
無霜期間		4月1日～11月26日		240日間	〃
最多風向		南南東	最大風速 (風向)	16.0m/s (南南東)	最多風向発生時期 10月 最大風速発生年月日 2006年4月11日 気象庁HP 1991年～2020年

(2) 特殊気象

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
柏崎観測所																
観測期間																
1976年～2024年																
最大日雨量 (mm)	256	2005 6.28	1/500	141	1984 8.30	1/20	137.5	2017 7.3	1/20	123	1978 6.26	1/10	121	2004 10.20	1/7	気象庁HP データ
最大時間雨量 (mm)	52	2007 8.22	—	50	1976 8.14	—	48	2024 8.25	—	48	1991 8.8	—	46	1984 8.30	—	〃
最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)	759	1961	1/50	678	1956	1/30	633	1971	1/25	580	1980	1/20	543	1970	1/15	水文統計 資料〔第 14版〕
最大連続干天日数 (日)	55	1994	1/500	34	2018	1/30	31	1984	1/20	28	2008	1/10	27	1974 1985 1990	1/10	〃

(3) 海象

該当なし

## 2. 地形、土質及び土壌

本地区は、主に東から西に向かって傾斜している。最急勾配1/6、最緩勾配1/1,373、平均地形勾配約1/46、標高16.7～34.2mとなっている。

### (1) 地形

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
区画整理	面積 (ha)	1.1	5.7	15.3	0.7	0.2	23.0	0.3	—	—	—	—	0.3	34.2	16.7	
	比率 (%)	4.8	24.8	66.5	3.0	0.9	100.0	100.0	—	—	—	—	100.0			
合計	面積 (ha)	1.1	5.7	15.3	0.7	0.2	23.0	0.3	—	—	—	—	0.3	34.2	16.7	
	比率 (%)	4.8	24.8	66.5	3.0	0.9	100.0	100.0	—	—	—	—	100.0			

### (2) 地質及び土壌

地質は、第四紀沖積 後背湿地であり、土壌タイプは「D31 (強グライ土壌—強粘土斑鉄型)」である。

### 3. 水利状況

#### (1) 用水状況

本地区の用水は国営用水受益の有無で大きく2系統に分かれている。地区北西側の一部のエリアは国営用水受益であり、二級河川鯖石川の善根頭首工より取水し、善根堰東江幹線用水路によりかんがいしている。他のエリアは国営用水受益外であり、二級河川久之木川の金べえ堰より取水し、久之木用水路によりかんがいしている。地区内用水路はフリューム水路であるものの、経年劣化が進み、通水断面の維持に苦慮している。

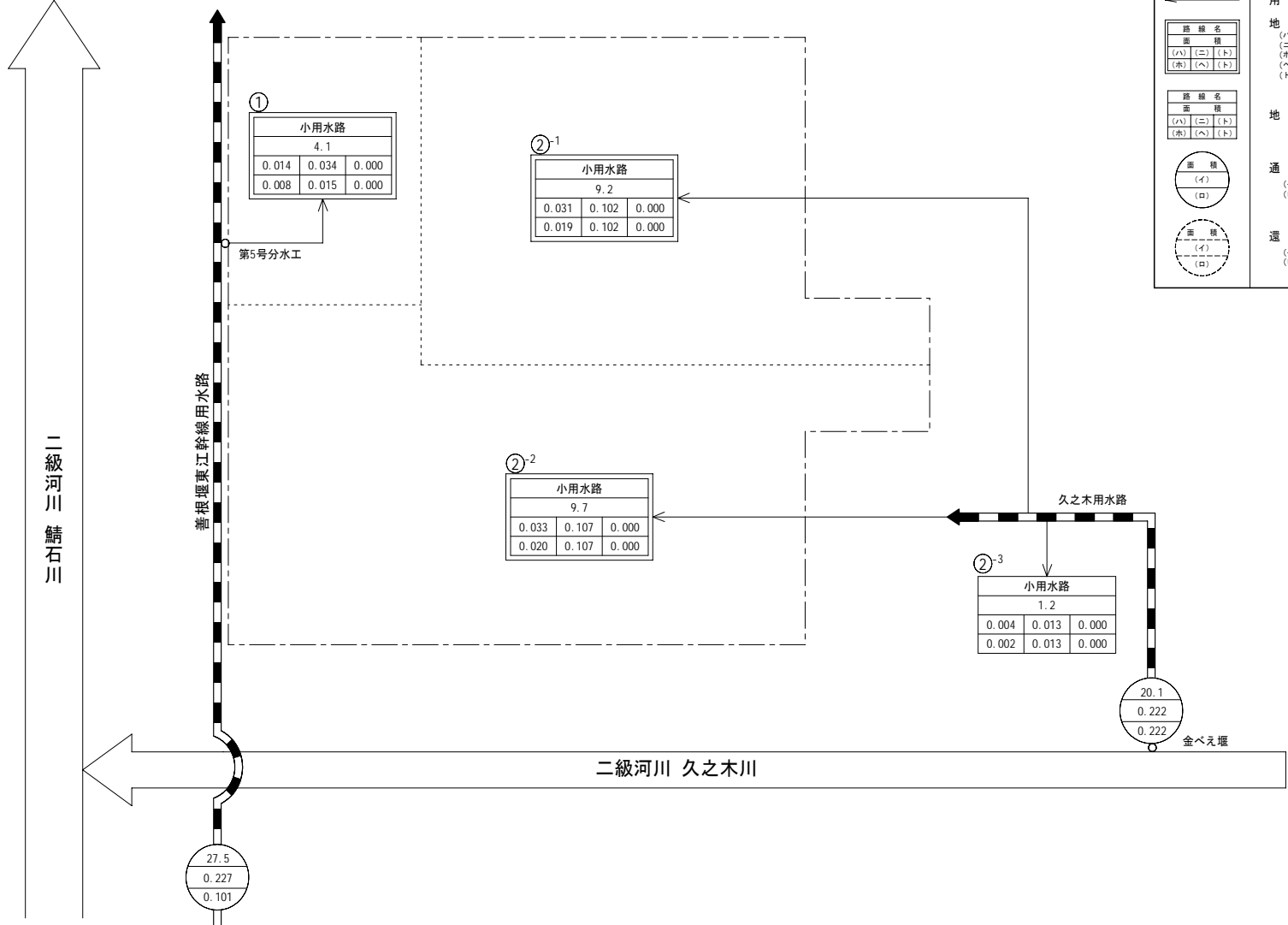
#### (ア) 用水系統

現況用水系統模式図のとおり。

久之木地区

### 現況用水系統模式図

凡 例					
-----	地区界				
←-----	用水路				
<table border="1"> <tr><td>路線名</td></tr> <tr><td>面積</td></tr> <tr><td>(イ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	路線名	面積	(イ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地区内 (イ) 代替期所要水量 (ニ) 代替期利用可能水量 (ホ) 普通期所要水量 (ヘ) 普通期利用可能水量 (ト) 不足量
路線名					
面積					
(イ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
<table border="1"> <tr><td>路線名</td></tr> <tr><td>面積</td></tr> <tr><td>(イ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	路線名	面積	(イ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地区外
路線名					
面積					
(イ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
<table border="1"> <tr><td>面積</td></tr> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> </table>	面積	(イ)	(ロ)	通水量 (イ) 代替期 (ロ) 普通期	
面積					
(イ)					
(ロ)					
<table border="1"> <tr><td>面積</td></tr> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> </table>	面積	(イ)	(ロ)	還元水量 (イ) 代替期 (ロ) 普通期	
面積					
(イ)					
(ロ)					



①

小用水路		
4.1		
0.014	0.034	0.000
0.008	0.015	0.000

②<sup>-1</sup>

小用水路		
9.2		
0.031	0.102	0.000
0.019	0.102	0.000

②<sup>-2</sup>

小用水路		
9.7		
0.033	0.107	0.000
0.020	0.107	0.000

②<sup>-3</sup>

小用水路		
1.2		
0.004	0.013	0.000
0.002	0.013	0.000

27.5
0.227
0.101

20.1
0.222
0.222

(イ) 用水施設

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計	許可水利権	慣行水利権等		延べ 取水量 m <sup>3</sup> /s	備考		
		500ha以上		500～100ha		100ha未満				箇所	ha			箇所	m <sup>3</sup> /s
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
区 画 整 理	善根頭首工	—	—	—	—	1	4.1	1	4.1	1	0.034	—	—	0.034	
	金べえ堰	—	—	—	—	1	18.9	1	18.9	—	—	1	0.222	0.222	
	合 計	—	—	—	—	2	23.0	2	23.0	1	0.034	1	0.222	0.256	

(ウ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(2) 排水状況

排水は、地区内の小排水路から支線排水路を經由して、二級河川鯖石川、二級河川久之木川へ自然排水している。地区内排水路はフリーム水路であるものの、経年劣化が進み、通水断面の維持に苦慮している。

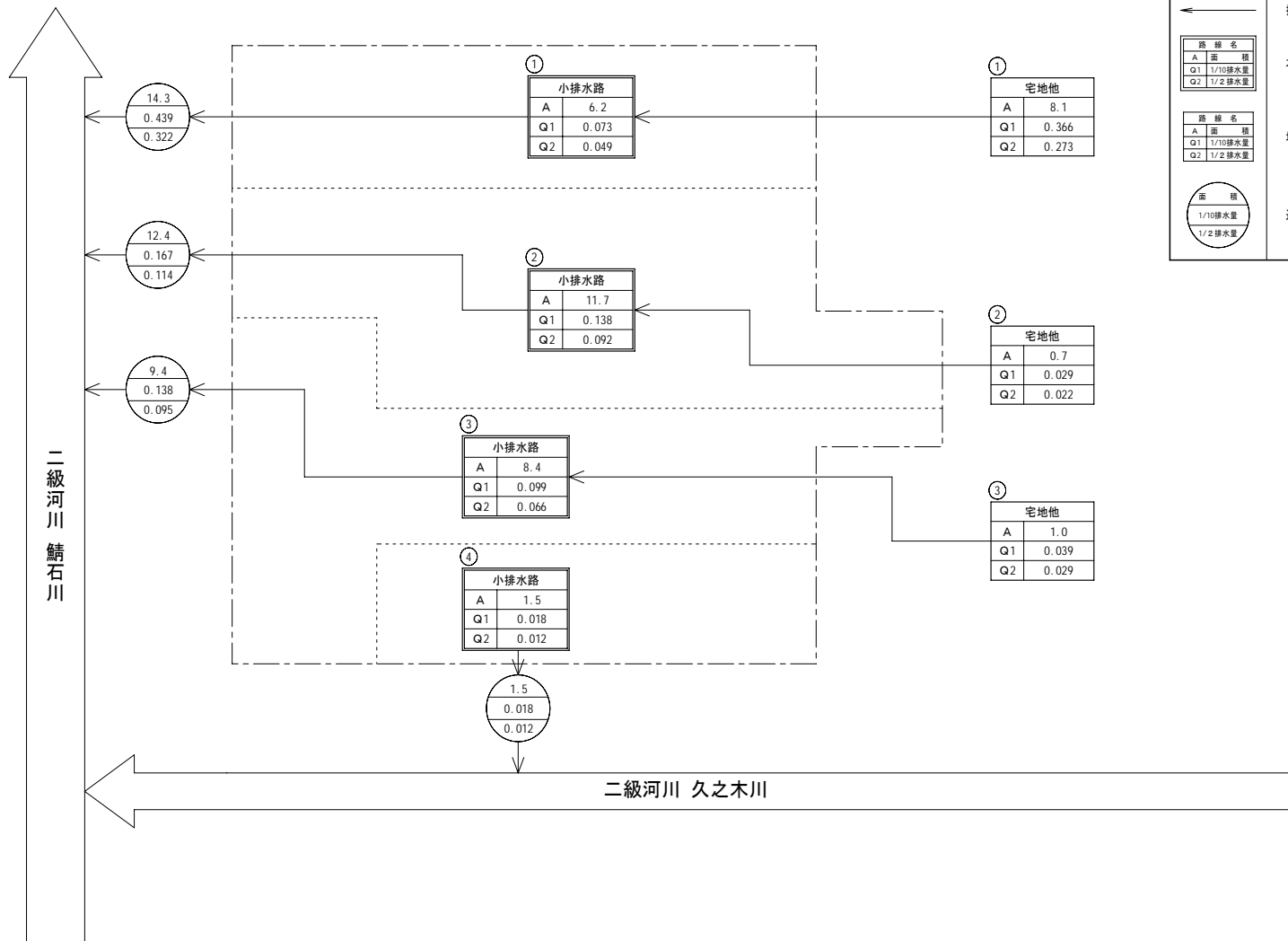
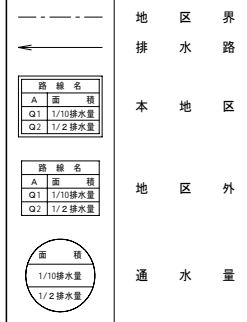
(ア) 排水系統

現況排水系統模式図のとおり。

久之木地区

### 現況排水系統模式圖

#### 凡 例



(イ) 排水施設

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)		現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)		備考	
			500ha以上		500～100ha		100ha未満									
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha						
区画整理	自然	排水路	—	—	—	—	多数	37.6	多数	37.6		0.762		0.762		
	機械	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—		—		
合計			—	—	—	—	多数	37.6	多数	37.6		0.762		0.762		

(ウ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

4. 河川状況

該当なし

5. 道路概況

本地区は、南北に一般県道田代小国線、東西に市道柏崎17-121号線が通り交通の要となっている。ほ場内農道は、幅員が2.0～2.5m程度と狭く、大型機械の導入が困難であり、作業効率の向上が進まない状況にある。

6. 営農状況

本地区は、中間農業地域（水田型）に属し、水稻を基幹作物としている。昭和30年頃に10a区画に整備されたままであり、小区画かつ道路幅員も狭いことから作業効率が悪い状況である。加えて、用排水施設の老朽化により、配水管理及び施設維持管理に大変苦慮している。また、農家数の減少や農業従事者の高齢化が進む中で、未整備の農地が多いために担い手への農地集積が進まず、農地が効率的に活用されない懸念が高まっている。

## 第4節 地域環境の概況

### 1. 植物・動物等生態系の概況

令和5年7月26日に行われた『生きもの調査』では、計画地区周辺において魚類（ドジョウ、シマドジョウ、アブラハヤ、ヨシノボリ）、両生類（トノサマガエル、ツチガエル）、昆虫類（ミズカマキリ、タイコウチ、アメンボ、ケラ、カゲロウの幼虫、モンシロチョウ、キアゲハ、オニヤンマ、シオカラトンボ）、貝類（オオタニシ、カワニナ、ヤマトシジミ）、甲殻類（モクズガニ、スジエビ）など多様な生きものの生息が確認されている。

### 2. その他、地域環境の概況

本地区は、八石山の麓に位置し、周辺には二級河川鯖石川や二級河川久之木川が流下している。そのような豊かな自然環境のもと、多種多様な生きものが生息している。

## 第3章 基本計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

本計画は、県営区画整理事業23.7haを施行し、区画整理によるほ場の大区画化及び耕地の汎用化を図る。これにより、労働生産性の向上を目指し、農地の集積、経営規模の拡大をするとともに高収益作物の栽培による安定した農業経営を確立するものである。

区画割りは、地形条件や将来の営農体系等を勘案して、0.5ha区画（長辺100m×短辺50m）を基本に整備を行う。道路計画は支線道路として全幅5.0m（有効幅員4.0m）の敷砂利舗装を基本とする。用水計画は、水の有効利用及び管理の合理化を図るためにファームポンドによる自然圧パイプライン形式とする。排水計画はほ場内排水のみの路線は管水路とし、地区外の流入がある路線は開水路とする。また、地耐力の確保や新たな園芸作物の導入を目的に地区内全域で暗渠排水を計画する。

#### 2. 事業別面積

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理						計 (ha)	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	道水路 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
区画整理	22.1	1.6	—	4.1	—	27.8	27.8	
計	22.1	1.6	—	4.1	—	27.8	27.8	

#### 3. 環境との調和への配慮

本地区においては、地域の生態系を保全するための特徴的かつ代表的な生きものとして、ドジョウを保全対象種に設定する。

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

- a) 経営方式 水稲転作複合 主食用米、種子用米、加工用米、えだまめ
- b) 経営組織 大型機械の導入による効率的な営農、担い手への農地利用集積を推進し、農業経営の安定化を図る。
- c) 作業体系（水稲） 耕起整地 → 基肥 → 植付 → 除草防除 → 収穫調製



### 2. 土地利用区分

事業名	土地利用区分	耕地							採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計						
区画整理	現況	23.0	0.3	—	—	—	—	23.3	—	—	0.2	4.3	27.8	
	計画	22.1	1.6	—	—	—	—	23.7	—	—	—	4.1	27.8	
計	現況	23.0	0.3	—	—	—	—	23.3	—	—	0.2	4.3	27.8	
	計画	22.1	1.6	—	—	—	—	23.7	—	—	—	4.1	27.8	

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

基準年：昭和49年

決定理由：国営かんがい排水事業 柏崎周辺地区による。

#### 2. 計画かんがい方式

##### a) かんがい期間

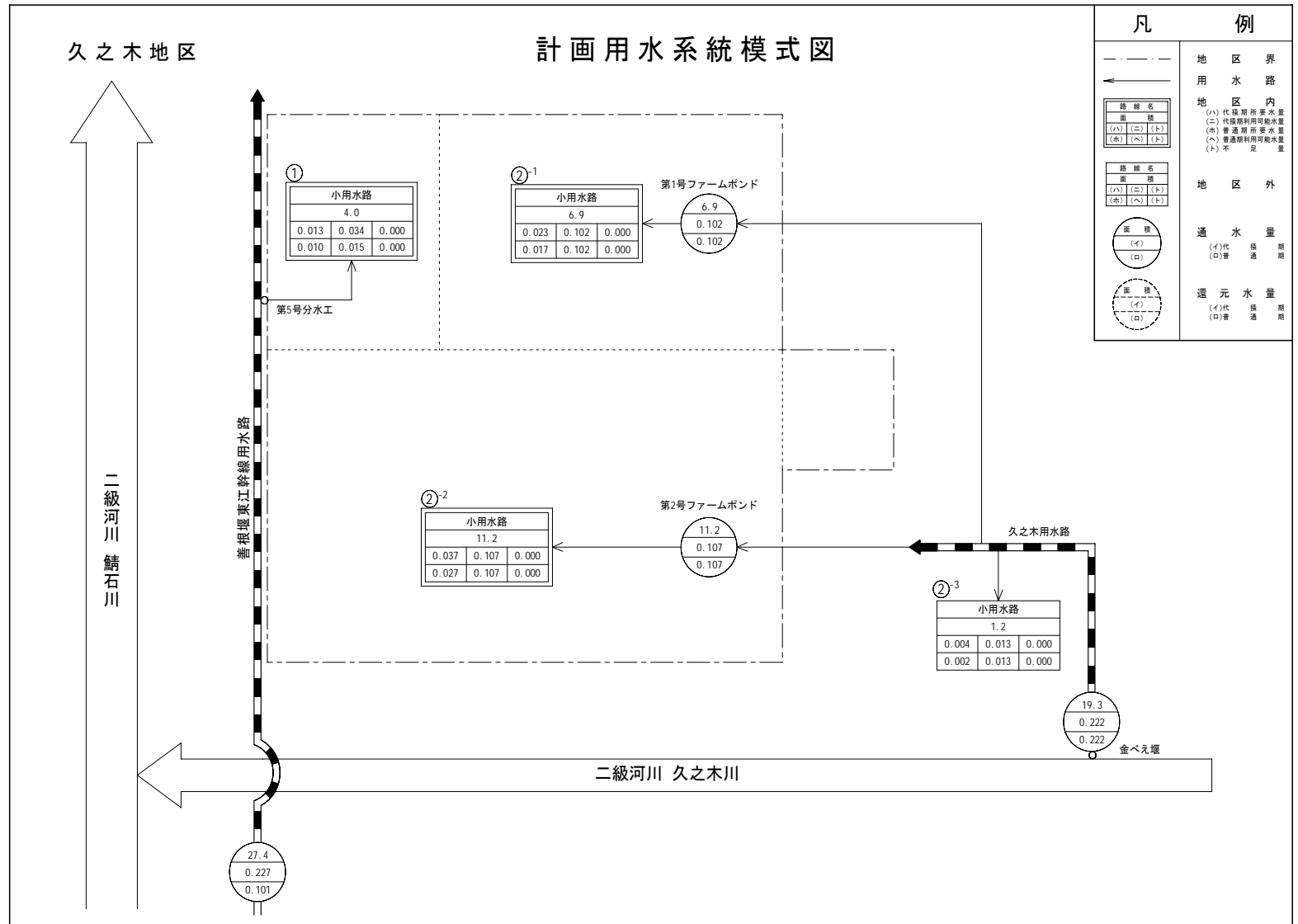
4月21日～8月31日（代掻き4月21日～4月30日）計133日

##### b) かんがい方式

自然圧パイプライン

#### 3. 計画用水系統

計画用水系統模式図のとおり。



4. 計画用水量

系統名	項目別	面積 (ha)		水田かんがい		水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名		普通期	代かき期	面 積	平均 かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面 積 (ha)	平均 かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面 積 (ha)	単 位 計 画 平均 用水量 (mm/日)			面 積 (ha)	平均		最大
		区 画 整 理	計																
				単 位 計 画 平均 用水量 (mm/日)	単 位 計 画 代 か き 量 (mm)	粗 用 水 量 (m³/s)	粗 用 水 量 (m³/s)												
二級河川 鱈石川	農業 用水	4.0	4.0	12.8	150	3.4	4	6	0.6	-	-	-	-	-	0.007	10.0%	0.008	0.013	
二級河川 久之木川	農業 用水	18.1	18.1	12.8	150	15.5	4	6	2.6	-	-	-	-	-	0.034	10.0%	0.038	0.060	
計		22.1	22.1	-	-	18.9	-	-	3.2	-	-	-	-	-	0.041	-	0.046	0.073	

5. 水源計画

(1) 水利用計画

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工 種	備考
						水源名	取水地点 利用可能	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
区 画 整 理	水 田 かん が い	475	-	475	528	二級河川 鱈石川 ・ 二級河川 久之木川	528	528	-	-	二級河川 鱈石川 ・ 二級河川 久之木川	528	河川	10%
	計	475	-	475	528		528	528	-	-		528		

#### 第4節 排水計画

##### 1. 計画基準雨量

最大日雨量 127.4mm (1/10確率)  
最大日雨量 85.0mm (1/2確率) } 気象庁柏崎観測所の時間雨量及び日雨量から算出

##### 2. 計画排水方式

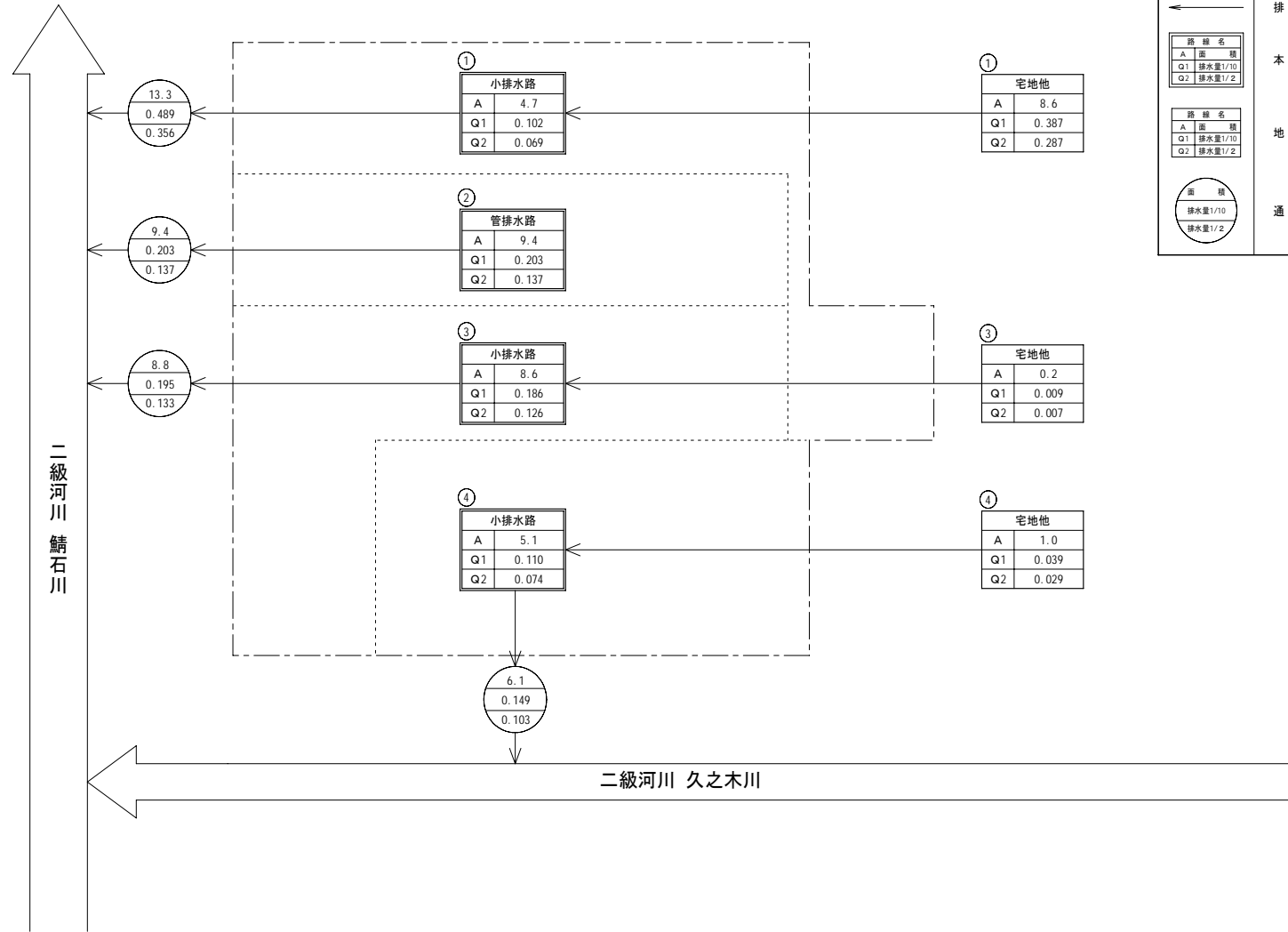
管排水路（VU管）及び開水路（排水フリーム）による自然流下

##### 3. 計画排水系統

計画排水系統模式図のとおり。

久之木地区

### 計画排水系統模式図



**凡 例**

----- 地区界  
 ← 排水路

路線名	
A	面積
Q1	排水量1/10
Q2	排水量1/2

路線名	
A	面積
Q1	排水量1/10
Q2	排水量1/2

○ 面積  
 排水量1/10  
 排水量1/2

地区界  
 本地区  
 地区外  
 通水量

4. 計画排水量

排水系統名	項目		受益面積 (ha)		流域面積 (km <sup>2</sup> )	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備考
	事業名		山地	平地			山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	区画整理	計										自然排水	機械排水			
二級河川 鱒石川	31.5	31.5	0.085	0.230	—	4.61	1.18 ~2.16	—	—	0.392	0.495	—	4.61	1.18 ~2.16		
二級河川 久之木川	6.1	6.1	0.008	0.053	—	4.61	1.18 ~2.16	—	—	0.037	0.112	—	4.61	1.18 ~2.16		
計	37.6	37.6	0.093	0.283	—	—	—	—	—	0.429	0.607	—	—	—		

## 第5節 道路計画

### 1. 道路

番号	項目	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
	路線名				
—	支線道路	5.0(4.0) × 2.8	道路高0.3m～ 側法 1:1.0～ 敷砂利舗装 流用土	県道、市道と接続	

### 2. 索道

該当なし

## 第6節 農用地造成計画

該当なし

## 第7節 農用地整備計画

### 1. 区画整理

#### (1) 区画の形状

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
100 × 50	0.5～	16.3	73.8	平均1.36	
不整形	0.2～0.5	5.8	26.2	平均1.36	
計		22.1			

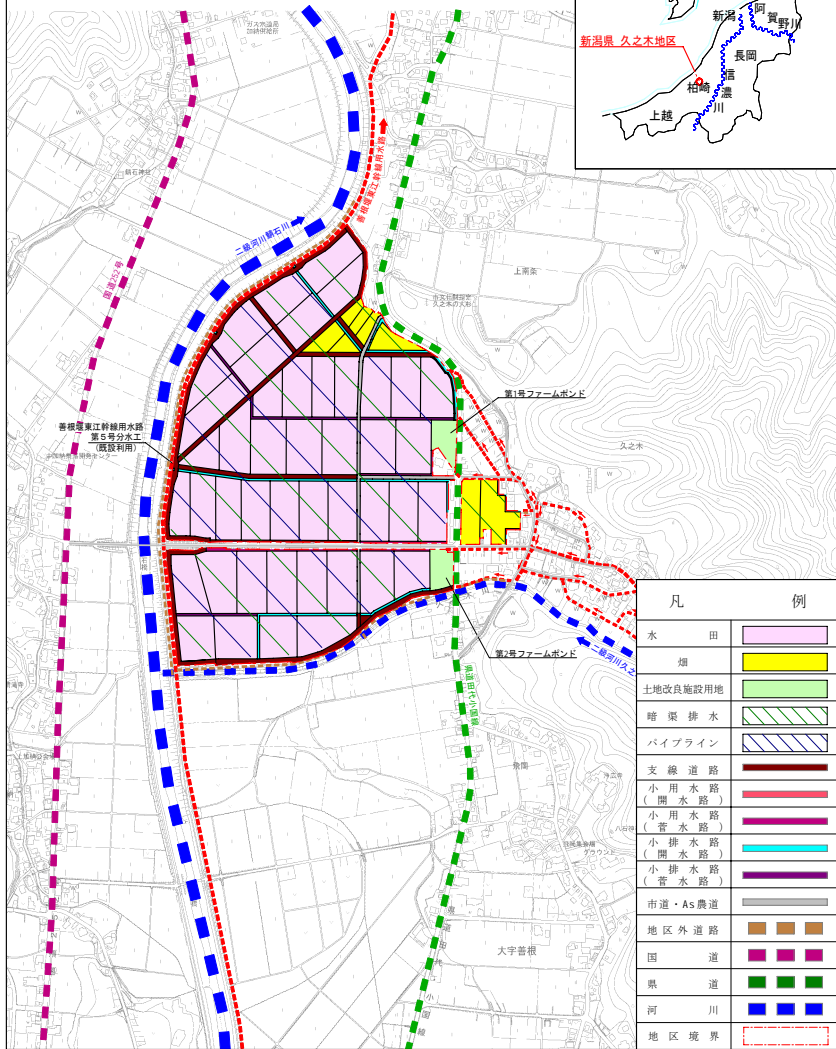
#### (2) 表土扱い

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
22.1	要：土壌調査の結果及び基盤切盛を行うため	15	33,150	

#### (3) 末端道水路配置図

計画一般平面図参照。

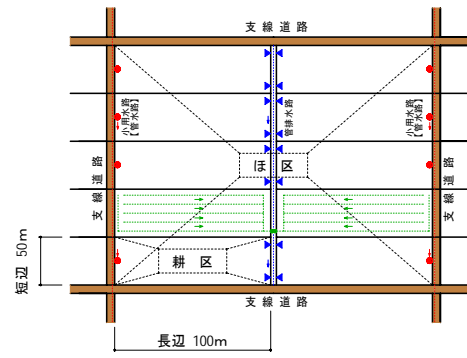
計画一般平面図



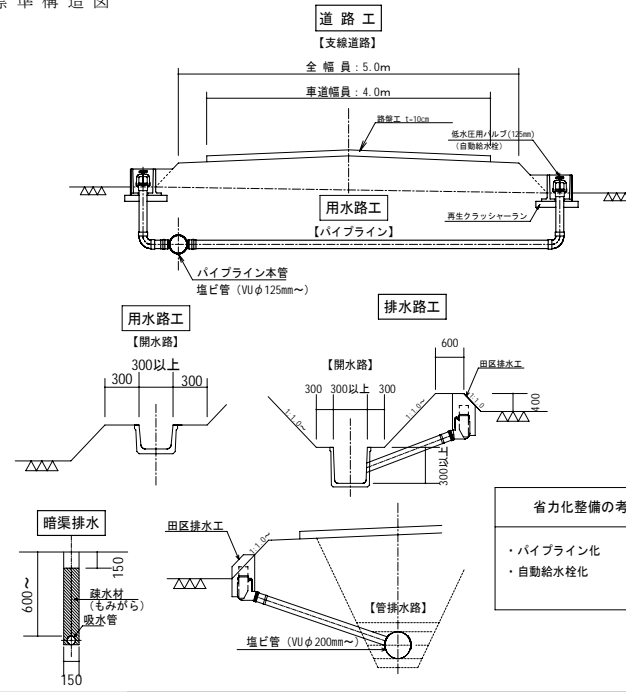
位置図



標準区割図



標準構造図



## 2. 暗渠排水

### (1) 暗渠排水

区分	項目	面積 (ha)		土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{\text{mm}}{\text{s}}/\text{ha}$ )	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
		事業名							
		区画整理	計						
田	D31	22.1	22.1	強グライ土壌 強粘土斑鉄型	50	5.8	0.5	自然排水	
畑	D31	1.6	1.6	強グライ土壌 強粘土斑鉄型	50	5.8	0.5	自然排水	
計		23.7	23.7						

### (2) 心土破碎

該当なし

## 3. 客土

該当なし

## 4. 農地保全

該当なし

## 第4章 工事又は管理の要領

### 第1節 工事の内容

施設名 \ 項目	工事内容	事業量	規模・構造	備考
田・畑	整地工	田22.1ha 畑1.6ha	標準区画100m×50m、表土扱い15cm	
農道	道路工	2.8 km	全幅5.0(4.0)m、敷砂利	
用水路	用水路工	3.8 km、FP2箇所	パイプライン：VUφ125mm～350mm、 FP：V=90m <sup>3</sup> 、V=150m <sup>3</sup>	
排水路	排水路工	2.2 km	HF300mm×300mm～HF600mm×600mm、 VUφ200mm～VUφ600mm	
暗渠排水	暗渠排水工	23.7 ha	吸水渠間隔 7.5m	

### 第2節 管理の要領

#### 1. 管理者

施設名	管理者	備考
農道、用排水路、ファームポンド	柏崎土地改良区	

#### 2. 管理方法に関する基本的事項

本事業において造成（改修・整備）される施設については、柏崎土地改良区が維持管理計画に基づき適正な管理を行う。

## 第5章 換地計画の要領

### 1. 換地計画樹立の必要性

本事業を契機に、農用地の集団化向上はもとより、地域農業の発展に資するように換地計画を樹立する。

特に同計画をもとに地元地権者との合意を図り、利用権設定等を換地と一体的に行い、望ましい経営体に円滑的に連担的農地として集積されるよう換地選定を行う。

### 2. 換地計画樹立の基本方針

#### (1) 従前の土地の地積の基準

換地区名	地積の基準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記地積とする。ただし、換地設計基準確定の日から3か月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士が測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合には、その申出のあった地積とする。

#### (2) 農用地集団化の方法

換地区名	区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全換地区		<p>地目別・作物別集団化 この事業を機会に転作畑とする水田又は長期的に転作使用とする水田は、希望をとりまとめ、出来るだけ集団化する。</p> <p>営農グループ別集団化 地域の担い手の育成及び確保を図るとともに、これらを団地化して効率的に機械作業等行えるよう、できるだけ経営農用地の面的な集積を積極的に進める。</p>	各人の換地は従前の土地条件を総合的に勘案して定める。	各農家の農地は、できるだけ大規模に集団化するものとし、1戸当たりの団地数は田で、おおむね1～2団地を目標とする。	原則として、固定畦畔とする。

(3) 非農用地の換地方法

該当なし

(4) 清算の方法

増価額比例地積清算方式による。

3. 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

用途	区分	機能交換に係る土地 (ha)				一般国公有地 (ha)	合計 (ha)	備考
		国有地	都道府県有地	市町村有地	計			
道水路		0.2	0.1	3.1	3.4	0.0	3.4	
合計		0.2	0.1	3.1	3.4	0.0	3.4	

4. 換地処分の特則

地区の区画形状の変更に係る工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができるものとする。

## 第6章 費用の概算

(単位：千円)

事業名 区分	区画整理	合計	備 考
主 要 工 事	916,649	916,649	内工事雑費 15,277 内地方事務費 28,372
附 帯 工 事	-	-	
計	916,649	916,649	

(単位：千円)

事 業 名 等	区 分	工 事 費				工 事 雑 費				地 方 事 務 費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
区画整理	負 担 率	62.5%	27.5%	10.0%	0.0%	-	100.0%	-	-	-	100.0%	-	-
	負 担 金 額	545,625	240,075	87,300	-	-	15,277	-	-	-	28,372	-	-
合計	負 担 率	62.5%	27.5%	10.0%	0.0%	-	100.0%	-	-	-	100.0%	-	-
	負 担 金 額	545,625	240,075	87,300	-	-	15,277	-	-	-	28,372	-	-

## 第7章 効 用

事業名等	区分	項目	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額 （千円）	備 考
区 画 整 理		作物生産効果	18,360	5,675	総費用（現在価値化）＝ 929,679 千円 総便益（現在価値化）＝ 1,013,844 千円 総費用総便益比＝ $\frac{1,013,844}{929,679} = 1.09$ 増加所得償還率＝ $\frac{-}{36,282} \times 100 = -$
		営農経費節減効果	29,874	30,297	
		維持管理費節減効果	△ 45	310	
		農業労働環境改善効果	4,059	－	
		景観・環境保全効果	611	－	
		国産農産物安定供給効果	1,970	－	
		計	54,829	36,282	
合 計		作物生産効果	18,360	5,675	
		営農経費節減効果	29,874	30,297	
		維持管理費節減効果	△ 45	310	
		農業労働環境改善効果	4,059	－	
		景観・環境保全効果	611	－	
		国産農産物安定供給効果	1,970	－	
		計	54,829	36,282	

## 第8章 他の事業との関係

該当なし

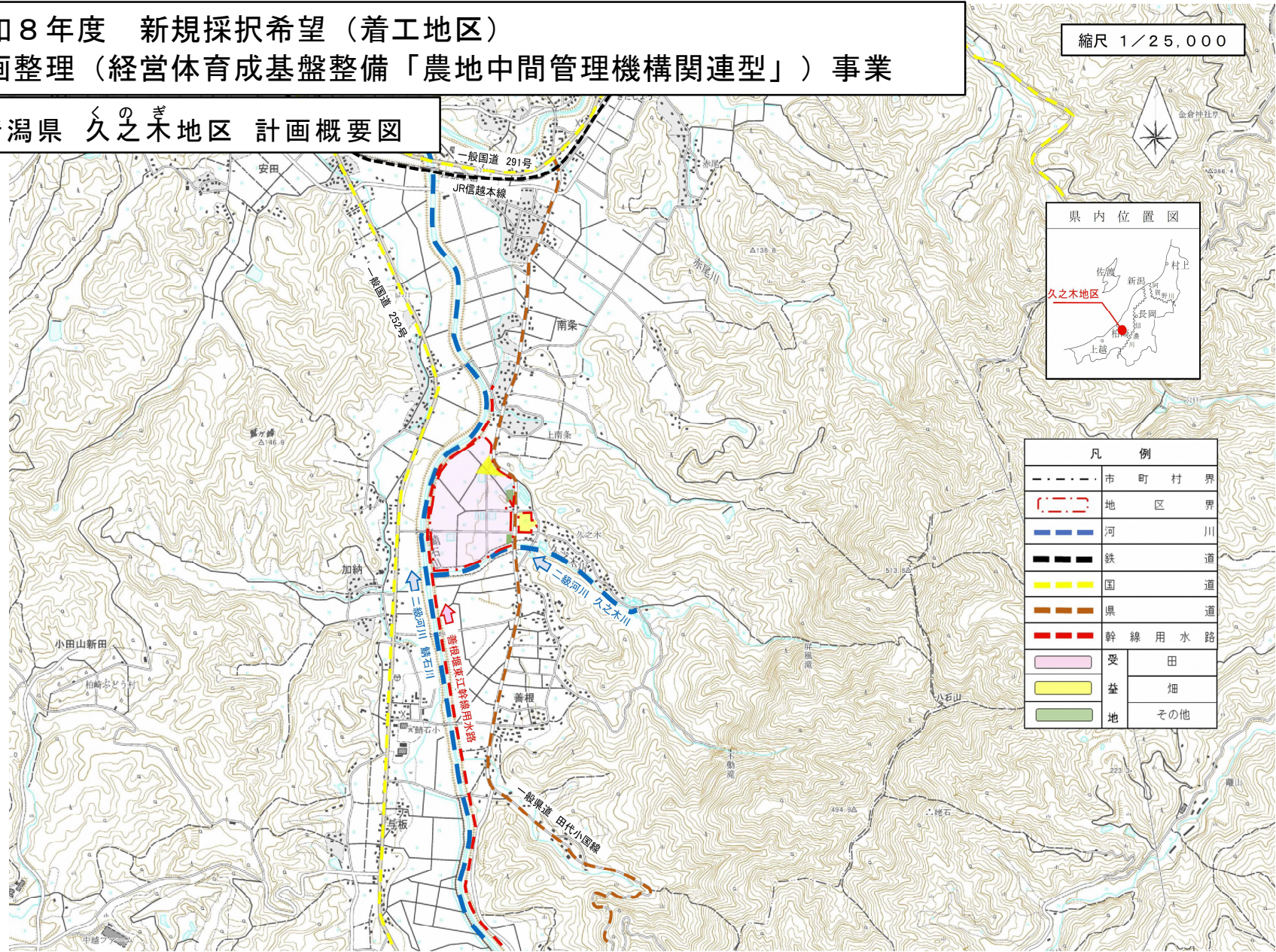
## 第9章 計画概要図

別紙図面のとおり。

令和8年度 新規採択希望（着工地区）  
 区画整理（経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」）事業

新潟県 くのぎ地区 計画概要図

縮尺 1/25,000



凡 例	
---	市 町 村 界
---	地 区 界
—	河 川
—	鉄 道
—	国 道
—	県 道
—	幹 線 用 水 路
■	受 田
■	益 畑
■	地 其他